

第1章

事業の概要

1 目的

現在、あらゆる分野で国境を越えた協力・調整・交渉が不可欠となっており、その対応を牽引・指導する次世代リーダーが求められている。

こうした観点から、「世界青年の船」事業は、世界各地から集まり多様なバックグラウンドを持つ参加青年が、ディスカッションや参加青年主体のワークショップ、文化交

流を通して、異文化対応力、コミュニケーション力、リーダーシップ、マネジメント力の向上を図ることにより、国際化の進展する各分野でリーダーシップを発揮して社会貢献を行うことができる青年を育成するとともに、国境を越えた強い人的ネットワークの構築を図ることを目的とする。

2 デリゲーション(参加国)

アルゼンチン共和国	ARG	ケニア共和国	KEN
エチオピア連邦民主共和国	ETH	メキシコ合衆国	MEX
フランス共和国	FRA	ニュージーランド	NZL
インド共和国	IND	ソロモン諸島	SOL
アイルランド	IRL	トルコ共和国	TUR
日本	JPN	アラブ首長国連邦	UAE
ヨルダン・ハシェミット王国	JOR	ザンビア共和国	ZAM

合計14か国

3 組織

(1) 管理部

管理部は、本事業の運営管理を行う。

(2) ファシリテーター

10名のファシリテーター(各テーマ1名)が、コース・ディスカッションを円滑に運営実施する。

(3) 活動単位

a. デリゲーション

(a) ナショナル・リーダー(NL)

- ・ 自国の参加青年(PY)を統率する。
- ・ NL会議の構成員として、管理部からの依頼に従い、事業期間中の生活、活動の基本的事項について協議し、決定する。
- ・ 所属するレター・グループのグループ・リーダー(GL)を兼務する。
- ・ 日本は、NLを2名置き、1名をサブNL(SNL)とする。SNLはNLを助け、NLと同等の役割を担う。

(b) ユース・リーダー(YL)

- ・ 日本以外の参加国はYLを1名置く。日本は、YLを2名置き、1名をアシスタントYL(AYL)とする。AYLはYLを助け、YLと同等の役割を担う。
- ・ YL及びAYLはNL及びSNLを補佐し、NL及びSNLが職務を継続できなくなった際の代役を務める。
- ・ 所属するレター・グループのアシスタント・グループ・リーダー(AGL)を兼務する。

b. レター・グループ(LG)

研修における活動の基礎単位として、各国PYからなるレター・グループ(A~N)を14グループで組織する。各グループには、GL1名、AGL1名を置く。

c. コース・ディスカッション(CD)

PYは、それぞれ違うテーマについてディスカッションを行う10のグループのうちの一つに所属し、グループ内でテーマに沿ったディスカッションを行う。

d. 委員会

PY間の交流を図り、相互の友好と理解を促進することを目的とする各種活動を企画・運営するために、PYは、必ず一つの委員会に所属する。

(a) All-PYセミナー委員会

全てのPYを対象としたセミナー（All-PYセミナー）の企画・準備・運営を行う。

(b) ディスカッション委員会

サマリー・フォーラムの準備・運営を行う。

(c) ピア・ラーニング・セミナー委員会

ピア・ラーニング・セミナーを主催したいPY等の集約、開催日時や開催場所の決定、必要物品の聞き取りを行う。

(d) 寄港地活動委員会

地域訪問活動（京都府、兵庫県）での活動グループの調整や、地域実践活動（高知県）における成果発表の準備・運営を行う。

(e) プレス委員会

報告書用の活動レポートの集約や、自主活動委員会やピア・ラーニング・セミナー委員会が企画するイベントやセミナーの広報を行う。

(f) 自主活動委員会

自主活動を主催したいPY等の集約、開催日時や開催場所の決定、必要物品の聞き取りを行う。

4 事業の準備日程

参加国政府担当者等会議	令和5年6月26日(月)
参加各国の本事業の業務を所掌する行政機関の職員及び事後活動組織の代表となる者が、事業の目的等について十分に理解を深め、PY及びNLの選考・推薦方針等についてオンラインにより確認を行った。	
ファシリテーター会議	令和5年7月15日(土)、7月16日(日)
事業全体の円滑かつ効果的な実施を図るため、コース・ディスカッションを担当するファシリテーター10名の出席を得て、事業の目的等について認識を共通にするとともに、その運営についてオンラインによる打合せを行った。また、ファシリテーターは8月30日から実施された日本参加青年事前研修にオンラインで参加し、JPYに対してコース概要やディスカッション講座をコースごとに行った。	
ファシリテーター・地域実践活動担当者合同会議	令和5年7月29日(土)、7月30日(日)
コース・ディスカッションと地域実践活動が一連のものとして円滑にプログラムが遂行できるよう、ファシリテーター10名及び地域実践活動実行委員会の出席を得て、事業の目的等について認識を共有するとともに、実際にどのような実践活動を行うのかオンラインで意見交換を行った。これを受け、高知県は受入れのための各種調整を行い、最終日程を作成した。また、令和5年12月に、内閣府職員及び支援業務の委嘱先である（一財）青少年国際交流推進センターの職員が高知県を訪問し、現地視察と打合せを行った。	
日本参加青年事前研修	令和5年8月30日(水)～9月3日(日)
JPYが事業の趣旨及び目的を十分に理解し、PYとしての心構えを養い、団体活動の基本を習得させることなどを目的とし、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて合宿形式で実施した。JPYは11月から始まるオンライン交流に向けて様々な活動単位で準備を進め、日本NL及びSNLの主導の下でチームビルディングなどを行った。	
地方訪問活動受入府県担当者会議	令和5年9月8日(金)
本事業の円滑かつ効果的な実施を図るため、地域訪問活動受入府県（京都府、兵庫県）の担当者（地方自治体職員及び地域訪問活動実行委員）が一堂に会し、地域訪問活動プログラムについてオンラインにより意見交換を行った。これを受け、各府県は受入れのための各種調整を行い、最終日程を作成した。また、令和5年12月に、内閣府職員及び支援業務の委嘱先である（一財）青少年国際交流推進センターの職員が各受入府県を訪問し、現地視察と打合せを行った。	

ナショナル・リーダー会議	令和5年9月30日(土)、10月1日(日)、10月7日(土)
<p>本事業及びPYの活動をより円滑かつ効果的に進めていく上で必要な事前協議を行うため、参加各国のNL等が一堂に会してオンライン形式で実施した。会議では事業の目的、オンライン交流での活動、対面交流時の生活面に関する基本ルール、オンライン交流から対面交流までの間の各種準備等について内閣府から説明を行い、会議後はNL間で本事業実施に関する事項について、綿密な協議が行われた。</p>	
オンライン交流1 (エチオピア、フランス、インド、アイルランド、日本、ヨルダン、ケニア、トルコ、アラブ首長国連邦、ザンビア)	令和5年11月4日(土)、11月11日(土)、 11月25日(土)
オンライン交流2 (アルゼンチン、日本、メキシコ、ニュージーランド、ソロモン諸島)	令和5年11月5日(日)、11月12日(日)、 11月26日(日)
オンライン交流(自主活動)	令和5年11月4日(土)～令和6年2月29日(木)
<p>コース・ディスカッションを中心として、世界の2地域(西半球地域：欧州・アフリカ・アジア・中東及び東半球地域：中南アメリカ・大洋州)に分けて、各地域3日間で実施した。各地域1日目の開講式では、由布和嘉子内閣府青年国際交流担当室長が、ビデオメッセージで開会の挨拶を行った。オンライン交流はOPYが来日する前にJPYと交流することで、相互理解や友好関係の構築を図り、OPYが来日してからの対面交流がより円滑に導入・進行できることも目的としており、公式プログラム外の自主活動や自由なコミュニケーション及び対面交流に向けた自主活動や地域実践活動の準備を通して、PY間に深い絆が生まれた。</p>	
対面交流	令和6年1月24日(水)～2月21日(水)
<p>外国NL・PYが令和6年1月24日に来日し、日本NL・SNL・PYと共に、千葉県成田市のホテルマイステイズプレミア成田においてプログラムに参加した。1月28日に東京港に移動してっぽん丸に乗船し、船内及び寄港地(京都府、兵庫県、高知県)においてプログラムに参加した。全てのプログラムを完遂し、外国NL・PYは2月21日に帰国の途に就いた。</p>	
日本参加青年事後研修	令和6年2月21日(水)～22日(木)
<p>JPYは、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、事後研修を実施した。事後研修はNL主導の下事業の振り返りやまとめを行い、今後の社会活動への積極的な参画に資するための方法を探った。</p>	

5 事業日程

(1) オンライン交流

※ JPYは、オンライン交流1、2のいずれか一方の日程に参加した。

【オンライン交流1(エチオピア、フランス、インド、アイルランド、日本、ヨルダン、ケニア、トルコ、アラブ首長国連邦、ザンビア)】

			17:00-18:00(日本時間)	18:15-20:00(日本時間)
1	11月4日	土	開講式・オリエンテーション(全体会)	コース・ディスカッション①
2	11月11日	土	レター・グループ・ミーティング 委員会ミーティング	コース・ディスカッション②
3	11月25日	土	寄港地活動準備	コース・ディスカッション③

【オンライン交流2(アルゼンチン、日本、メキシコ、ニュージーランド、ソロモン諸島)】

			8:00-9:00(日本時間)	9:15-11:00(日本時間)
1	11月5日	日	開講式・オリエンテーション(全体会)	コース・ディスカッション①
2	11月12日	日	レター・グループ・ミーティング 委員会ミーティング	コース・ディスカッション②
3	11月26日	日	寄港地活動準備	コース・ディスカッション③

(2) 対面交流

			9:30-10:30	10:45-11:45	13:30-14:30	14:45-15:45	16:00-17:00	17:15-17:30	19:20-20:20	20:30-21:30	
1	1月24日	水	[OPYs] 来日・到着オリエンテーション [JPYs] 集合・到着オリエンテーション								
2	1月25日	木	[NLs/SNL/YLs/AYL] 御引見 [PYs] アイスプレイング	委員会 ミーティング	参集式・オリエンテーション			コース・ディス カッション・ミー ティング	レターグループ・ ミーティング		
3	1月26日	金	自主活動オリ エンテーション	委員会 ミーティング	アセンブリー	自主活動・PL セミナー準備		レターグループ・ ミーティング	自主活動①	自主活動②	
4	1月27日	土	フィールド・スタディ						チェックアウト・オリエンテーション		
5	1月28日	日	チェックアウト・移動				乗船		船内生活オリエンテーション		
6	1月29日	月	避難訓練・カウンセラー講話	オープンシップ	出航式	出航	レターグループ・ ミーティング	All-PY セミナー①			
7	1月30日	火	コース・ディスカッション①	委員会 ミーティング	自主活動③	自主活動④	レターグループ・ ミーティング	自主活動⑤	自主活動⑥		
8	1月31日	水	コース・ディスカッション②	委員会 ミーティング	PL セミナー①	PL セミナー②	レターグループ・ ミーティング	寄港地活動オリ エンテーション	寄港地活動 準備		
9	2月1日	木	寄港地活動（京都府）						-		
10	2月2日	金	寄港地活動（京都府）						-		
11	2月3日	土	寄港地活動（京都府）						-		
12	2月4日	日	ハーフホリデー	PL セミナー③	コース・ディスカッション③	レターグループ・ ミーティング	自主活動⑦	自主活動⑧			
13	2月5日	月	フォトセッション	PL セミナー④	コース・ディスカッション④	レターグループ・ ミーティング	寄港地活動オリ エンテーション	寄港地活動 準備			
14	2月6日	火	寄港地活動（兵庫県）						-		
15	2月7日	水	寄港地活動（兵庫県）						-		
16	2月8日	木	寄港地活動（兵庫県）						-		
17	2月9日	金	ハーフホリデー	事後活動セッション	寄港地活動オリ エンテーション	レターグループ・ ミーティング	寄港地活動 準備	-			
18	2月10日	土	寄港地活動（高知県）						-		
19	2月11日	日	寄港地活動（高知県）						-		
20	2月12日	月	寄港地活動（高知県）						-		
21	2月13日	火	寄港地活動（高知県）						-		
22	2月14日	水	寄港地活動（高知県）						-		
23	2月15日	木	寄港地活動（高知県）						-		
24	2月16日	金	寄港地活動（高知県）						-		
25	2月17日	土	寄港地活動（高知県）						-		
26	2月18日	日	ハーフホリデー	コース・ディスカッ ション振り返り	委員会 ミーティング	デリゲーション・ ミーティング	レターグループ・ ミーティング	下船オリエンテーション			
27	2月19日	月	All-PY セミナー②	サマリー・フォーラム準備			レターグループ・ ミーティング	下船準備・キャビンチェック			
28	2月20日	火	サマリー・フォーラム リハーサル	サマリー・フォーラム	解散式	[NLs/SNL/YLs/AYL] 総理大臣表敬訪問 [PYs] 荷物移動	解散交換会				
29	2月21日	水	[OPYs] 離日								